サイバーセキュリティ・ニュース
CS－NEWS

サイバー犯罪対策課
令和元年6月18日

<<フィッシング詐欺に注意！>>

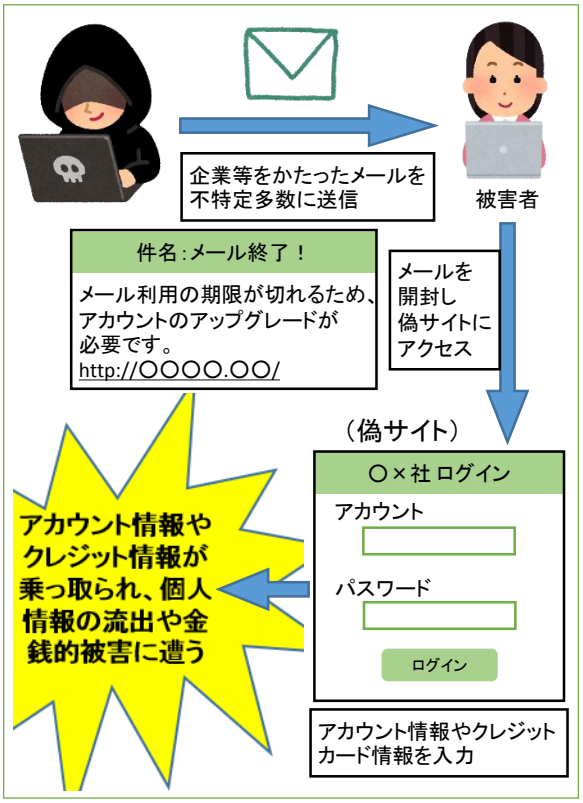
三重県内のプロバイダを装ったフィッシングメールが発生

メールに記載されているリンクには要注意

三重県内のプロバイダ（ケーブルテレビ局）を装った偽メール（フィッシングメール）が多数送信されています。メールに書かれたリンクにアクセスすると、アカウントやパスワード等の情報を盗み取る偽サイトに誘導されてしまいます。

また、県外のプロバイダを装った複数の偽サイトも確認されていますが、偽サイトは、本物と見分けがつかないほど精巧なものが少なくありません。

このような偽メールは誰のところにも送られて来る可能性があります。



フィッシング詐欺の流れ

対策

- 身に覚えのないメールは不用意に開かない
- メール内のURLを不用意にクリックしない
- 不審に思ったら警察に相談を

携帯電話事業者からの案内を装った偽メールが拡散

不審なメールはクリックせずに削除を

携帯電話事業者を装い、「キャリア決済が不正利用された可能性がある」とウソの警告メールを送りつけて偽サイトに誘導し、情報を盗み取る被害が三重県内でも発生しています。

盗まれた情報は、携帯電話の料金決済等に悪用され、通信料金と一緒に高額な代金を請求されることがあります。

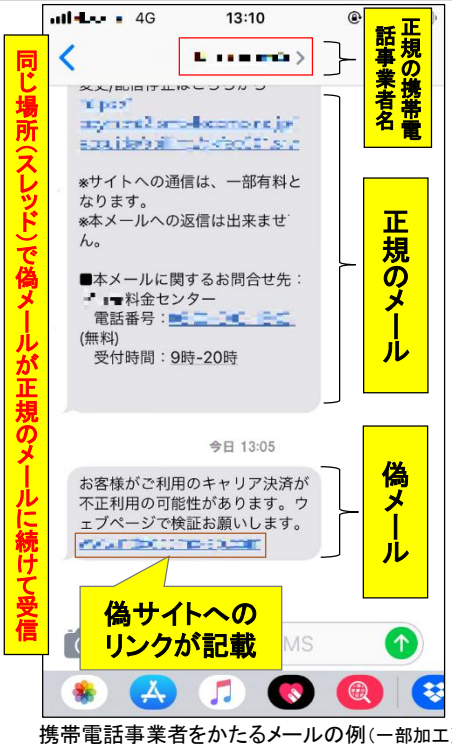
この偽メールは、正規の事業者のメールと同じ場所に表示されることがあり、特に注意が必要です。

リンク先や内容に不審な点がないか、よく確認するようにしましょう。

このほか、宅配事業者からの不在配送通知を装った偽メールも発生しています。

Ａｎｄｒｏｉｄ端末の場合、宅配業者を装った偽メールに書かれたリンク先にアクセスすると、不正アプリのダウンロード画面が表示される場合があります。

もし不正アプリをダウンロードすると、大量の偽メールが発信されたり、アカウントを不正利用されることがあります。特に、「提供元不明のアプリ」を許可する設定にすると、不正アプリの被害に遭いやすくなります。設定の変更は、慎重に行いましょう。



携帯電話事業者をかたるメールの例（一部加工）